

各 位

令和 8 年 2 月 16 日



会 社 名 株式会社日本抵抗器製作所
代表取締役社長 木 村 準
(コード番号 6 9 7 7 東証スタンダード)
問合せ先 社長室 室長 木矢村 隆
TEL (0763) 62-8125

**令和 7 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値の差異及び
特別利益、特別損失、法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ**

当社は、令和 7 年 12 月期において、下記のとおり特別利益、特別損失、法人税等調整額（損）を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、令和 7 年 11 月 14 日に公表した通期連結業績予想値と本日発表いたしました実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について（連結・個別）

令和 7 年 11 月 27 日付「投資有価証券売却に伴う特別利益の計上見込みに関するお知らせ」にて公表しておりました当社保有純投資目的の投資株式の一部売却に伴い、投資有価証券売却益 47 百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上について（連結・個別）

(1) 固定資産除却損（連結）

連結子会社における建物付属設備等の除却に伴い、固定資産除却損 22 百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 減損損失（連結）

連結子会社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 119 百万円を特別損失に計上いたしました。

(3) 過年度決算訂正関連費用（連結・個別）

令和 6 年 12 月期の決算手続の過程で発生した過年度決算訂正に伴う訂正監査報酬等として、過年度決算訂正関連費用 20 百万円を特別損失に計上いたしました。

(4) 関係会社貸倒引当金繰入額（個別）

当社は債務超過の連結子会社への債権に対して、関係会社貸倒引当金繰入額 27 百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該損失は個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はございません。

(5) 関係会社事業損失引当金繰入額（個別）

当社は債務超過の連結子会社に対して、関係会社事業損失引当金繰入額 84 百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該損失は個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はございません。

3. 法人税等調整額（損）の計上について（連結）

当社グループにおける今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額（損）として 41 百万円を計上いたしました。

4. 業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「令和 7 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

5. 令和 7 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

（令和 7 年 1 月 1 日 ～ 令和 7 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	△60	△90	△90	△72.74
今回実績 (B)	5,905	△109	△136	△376	△304.33
増減額 (B-A)	△95	△49	△46	△286	
増減率 (%)	△1.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (令和 6 年 12 月期)	6,454	△133	△104	△181	△146.63

6. 差異の理由

当社グループの通期連結業績につきましては、新規量産品の立ち上げや顧客の在庫調整の改善傾向などにより、第 4 四半期には業績の改善がみられたものの、一部産業機械向け製品においては設備投資の伸び悩みによる受注減少の状況が継続していることに加え、第 3 四半期までの累計業績の低迷が響き、上記の結果となりました。利益面では売上高の伸び悩み、資源・エネルギー価格の高止まり、物価の上昇などに伴うコスト増加傾向に加え、前期に操業開始したタイ国の生産拠点における生産体制構築に伴う費用が引き続き発生している等の要因により予想値を下回る結果となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、上記 1～3 に記載のとおり特別利益、特別損失、法人税等調整額（損）を計上したことで予想値を大きく下回る結果となりました。

以 上